

令和4年度第1回札幌市営企業調査審議会総会

日時 令和4年9月13日(火) 午前10時から
会場 札幌市役所本庁舎12階1～5号会議室

会議次第

- 1 副市長あいさつ
- 2 委員及び理事者紹介
- 3 会長、副会長の選出
- 4 今後の運営方法の審議
- 5 事業説明(令和4年度予算の概要)
- 6 質疑

資料

- 札幌市営企業調査審議会委員名簿 ……………資料1
- 札幌市営企業調査審議会条例 ……………資料2
- (事業説明資料)
- 令和4年度交通事業 予算の概要 ……………資料3
- 令和4年度水道事業 予算の概要 ……………資料4
- 令和4年度下水道事業 予算の概要 ……………資料5
- 令和4年度病院事業 予算の概要 ……………資料6

札幌市営企業調査審議会委員名簿

(五十音順、敬称略)

朝倉 幹雄	札幌商工会議所政策委員会副委員長
石田 眞二	北海道科学大学教授 (副学長)
上原 昌二	市民委員
臼井 栄三	市民委員
内田 賢悦	北海道大学大学院工学研究院教授
大橋 俊忠	北海道経済連合会理事事務局長
岡田 美弥子	北海道大学大学院経済学研究院教授
押木 守	北海道大学大学院工学研究院准教授
加藤 純広	株式会社北海道医療新聞社編集部次長
金子 貞男	社会医療法人禎心会札幌禎心会病院脳腫瘍研究所所長
紺野 裕和	市民委員
今野 喜文	北海学園大学経営学部教授
齋藤 友子	一般社団法人北海道ビルディング協会専務理事
白崎 伸隆	北海道大学大学院工学研究院准教授
竹之内 洋人	弁護士 (札幌弁護士会所属)
田中 かおり	公益社団法人北海道看護協会専務理事
中川 充子	株式会社北海道新聞社執行役員みらい教育推進室長
野中 雅	一般社団法人札幌市医師会副会長
馬場 幸樹	一般社団法人札幌青年会議所常任理事
林 信子	市民委員
星原 智江	公益社団法人札幌消費者協会理事
松浦 豊	北海道中小企業団体中央会専務理事
松下 拓	北海道大学大学院工学研究院准教授
皆川 智司	市民委員
山田 俊郎	北海学園大学工学部教授
湯浅 ひとみ	札幌市PTA協議会副会長
吉田 賢一	連合北海道札幌地区連合会事務局長
渡辺 昌治	市民委員

以上28名

札幌市営企業調査審議会条例

昭和 40 年 12 月 15 日
条 例 第 3 2 号

(設置)

第 1 条 本市の公営企業（以下「公営企業」という。）に関する諸施策の運営に資するため、札幌市営企業調査審議会（以下「審議会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第 2 条 審議会は、公営企業に関し、市長の諮問に応じ、次の各号に掲げる事項につき調査審議する。

- (1) 運営管理の方針に関すること
- (2) 財政に関すること
- (3) その他市長が必要と認める事項に関すること

2 審議会は、前項各号に掲げる事項に関し、自ら調査審議して市長に意見を申し出ることができる。

(組織)

第 3 条 審議会は、委員 30 人以内で組織する。

2 委員は、学識経験者その他市長が適当と認める者のうちから、市長が委嘱する。

(任期)

第 4 条 委員の任期は 2 年とし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。ただし、再任を妨げない。

(会長及び副会長)

第 5 条 審議会に、会長及び副会長各 1 人を置き、委員の互選によってこれを定める。

2 会長は、会務を総理する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(部会)

第 6 条 審議会に、必要に応じ部会を置くことができる。

2 部会所属の委員は、会長が指名する。

3 部会に部会長を置き、部会に属する委員の互選によってこれを定める。

(会議)

第 7 条 審議会は、会長が招集する。

2 審議会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

(庶務)

第 8 条 審議会の庶務は、総務局において処理する。

(補則)

第 9 条 この条例に定めるもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は、市長が定める。

附 則

1 この条例は、公布の日から施行する。

令和4年度交通事業 予算の概要

【軌道整備事業会計】

1	予 算 総 括 表	1 頁
2	業 務 量	2
3	主 要 事 業 の 概 要	3
4	過 去 5 年 間 の 傾 向	4

【高速電車事業会計】

1	予 算 総 括 表	5
2	業 務 量	6
3	主 要 事 業 の 概 要	7
4	過 去 5 年 間 の 傾 向	8

1 予算総括表

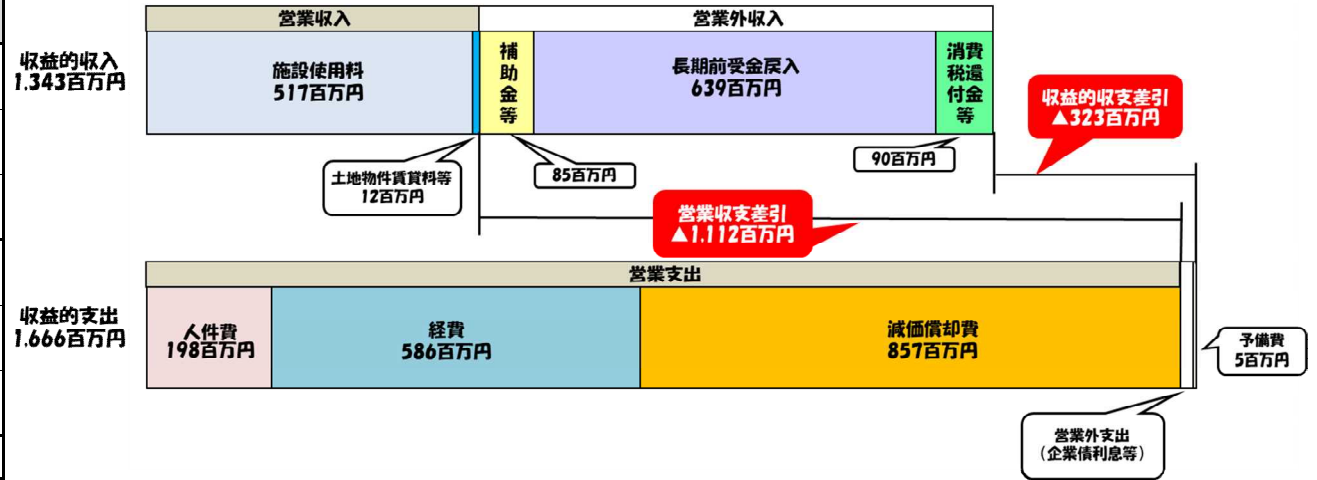
(軌道整備事業会計)

(単位:百万円、税込)

項 目		3年度予算 A	4年度予算 B	差 引 (B-A)
收 益 的 収 支	営業収益 (施設使用料収入等)	317	529	212
	営業費用 (人件費・経費等)	1,472	1,641	169
	営業収支 (本業による利益)	△ 1,155	△ 1,112	43
	営業外収益 (補助金等)	720	814	94
	営業外費用 (支払利息・消費税等)	27	20	△ 7
	営業外収支 (本業以外による利益)	693	794	101
	予備費	5	5	0
	特別利益	0	0	0
	特別損失	0	0	0
	収益的収支差引	△ 467	△ 323	144
資 本 的 収 支	資本的収入 (企業債・負担金)	2,333	1,619	△ 714
	資本的支出 (建設改良費等)	2,538	1,873	△ 665
	資本的収支差引	△ 205	△ 254	△ 49
当年度分損益勘定留保資金等 (減価償却費・長期前受金戻入等)		190	244	54
当年度分資金過不足額		△ 482	△ 333	149
過年度分内部留保資金		236	△ 247	△ 483
合計		△ 247	△ 579	△ 332
長期借入金残高		615	1,008	393
再計		368	429	60

●収益的収支

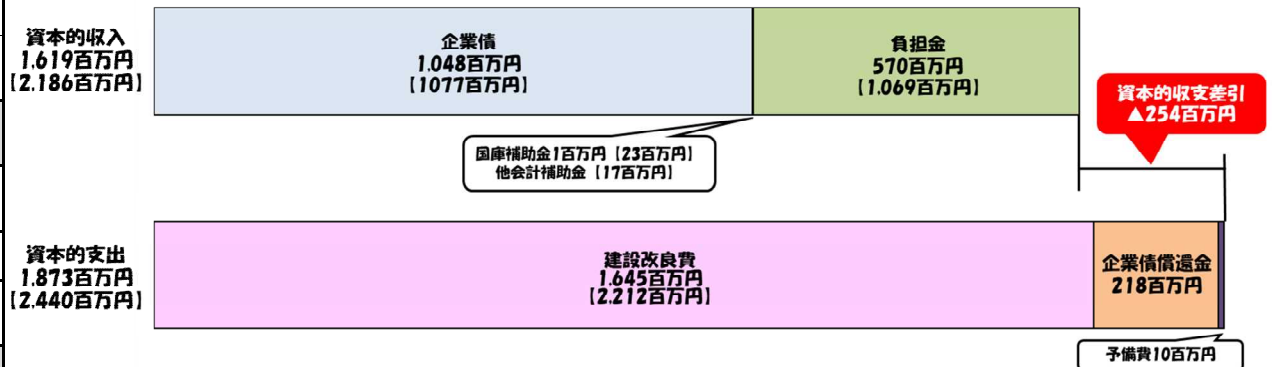
(金額は消費税込)



令和4年度予算の収益的収支は、施設使用料等の収入では、人件費、経費、減価償却費などの費用を賄うことはできず、323百万円の赤字となる見込みです。

●資本的収支

(金額は消費税込)



令和4年度予算の資本的収支は、設備投資のための支出である建設改良費の財源を、企業債や負担金などの収入により賄っていますが、過去に借入した企業債の元金償還のために254百万円の不足となる見込みです。不足額については、減価償却費などの損益勘定留保資金等で賄います。

2 業務量

(軌道整備事業会計)

区 分	3 年 度 予 算 A	4 年 度 予 算 B	比 較	
			増 減 Δ B - A = C	増 減 率 (%) C / A
営 業 キ 口 数	km 8.9	km 8.9	km 0.0	0.0
車 両 数	両 36	両 36	両 0	0.0

(参考 軌道運送事業者 (札幌市交通事業振興公社))

輸 送 人 員	年 間	人 5,858,000	人 6,841,000	人 983,000	16.8
	一 日 平 均	人 16,050	人 18,741	人 2,691	16.8
乗 車 料		千円 970,000	千円 1,137,000	千円 167,000	17.2

3 主要事業の概要

(軌道整備事業会計)

(単位：千円)

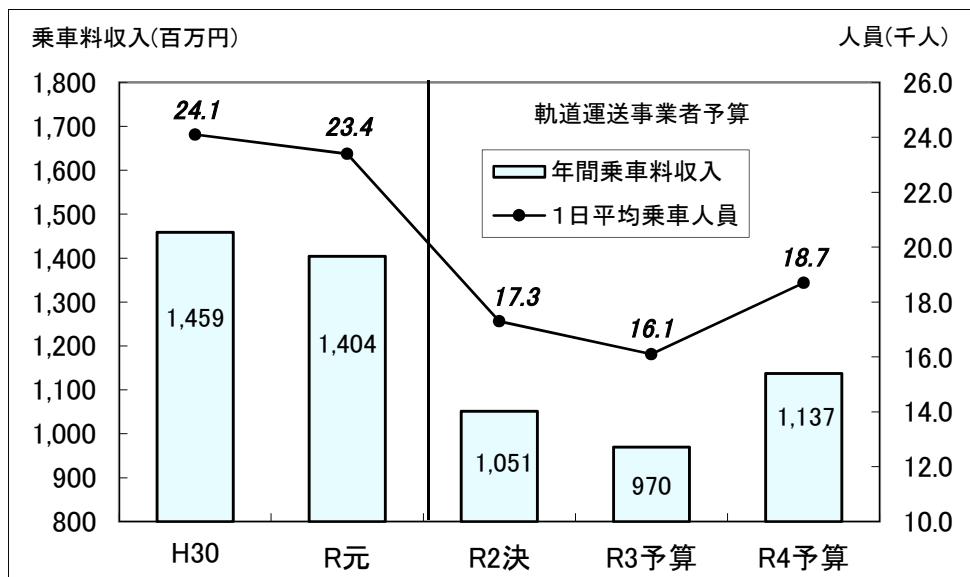
項目	3年度 予算 (A)	4年度 予算 (B)	差 引 (B) - (A)	事業の主な内容
建設改良事業 (注) (※)	2,343,000 (1,776,000)	1,645,000 (2,212,000)	△ 698,000 (436,000)	<p><車両基地改良・電力設備増強関連事業> R4年：930百万円 (R4年1定補正：168百万円)</p> <p>○電車事業所改良建築工事・・・・・・・・R4年：715百万円 (R4年1定補正：168百万円) ○新山鼻変電所受変電設備更新工事・・R4年：215百万円</p> <p><車両関係> R4年：486百万円 (R4年1定補正：194百万円)</p> <p>○低床車両製造・・・・・・・・R4年：159百万円 (R4年1定補正：194百万円) ○除雪車両更新・・・・・・・・R4年：259百万円 ○路面電車8500形車両主電動機及び駆動装置・・・・・・・・R4年：65百万円 ○3300形行先表示器改修・・・・・・・・R4年：3百万円</p> <p><軌道更新・街路拡幅関連事業等> R4年：229百万円 (R3年度当初予算繰越予定：205百万円)</p> <p>○軌道更新事業・・・・・・・・R4年：48百万円 ○街路拡幅に伴う電気設備工事・・・・・・・・R4年：72百万円 ○街路拡幅に伴う軌道改良・・・・・・・・R4年：35百万円 (R3年度当初予算繰越予定：205百万円) ○その他・・・・・・・・R4年：74百万円</p>
企業債	635,000	1,048,000	413,000	
同 国 庫 補 助 金	22,000	1,000	△ 21,000	
財 上 一 般 会 計 補 助 金	17,000	0	△ 17,000	
内 訳 負 担 金	1,659,000	570,000	△ 1,089,000	
そ の 他	10,000	26,000	16,000	

(注) 3年度予算は、R4年1定補正362百万円を含む(国の補正予算に伴う)

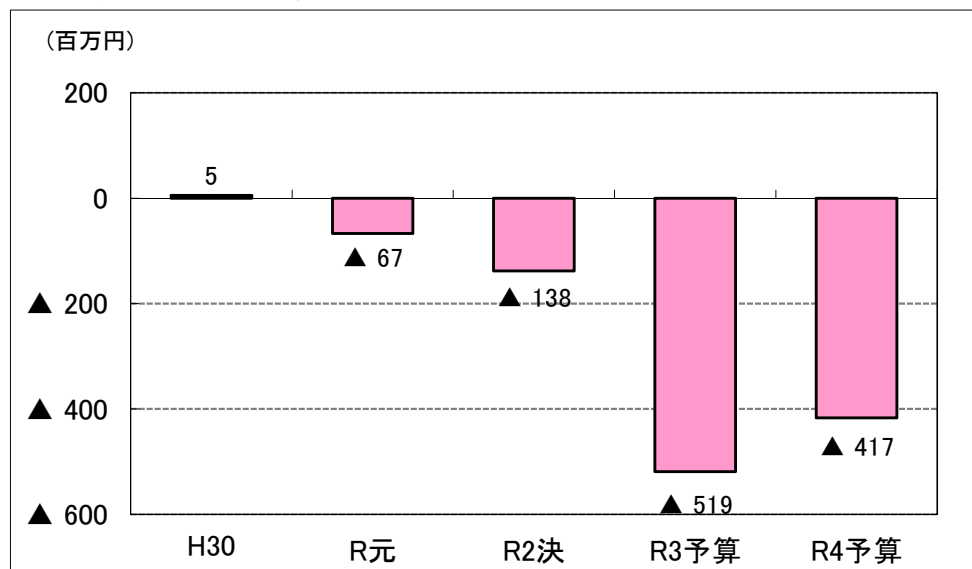
(※) ()内は、R4年1定補正予算及びR3年度当初予算からの繰越予定額の増減を含めた金額

4 過去5年間の傾向

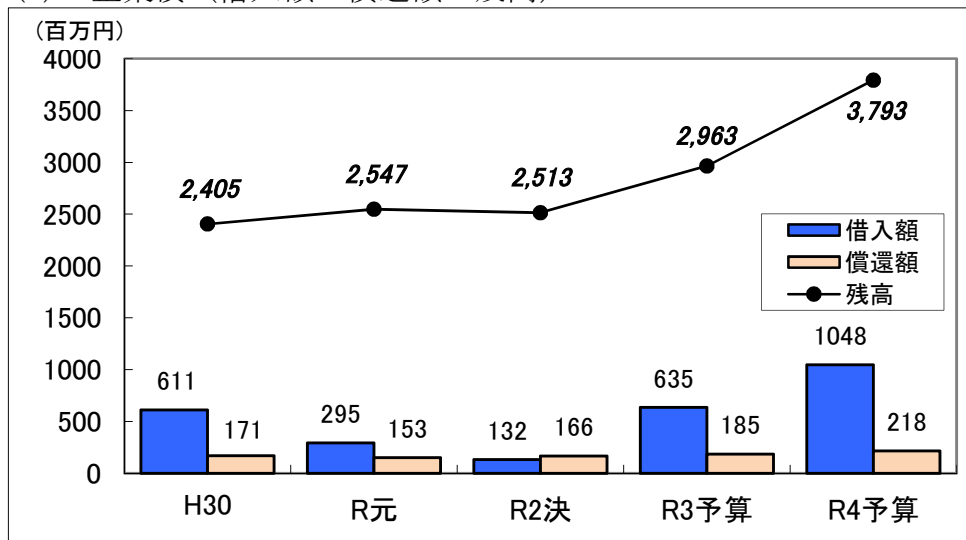
(1) (参考) 1日平均乗車人員及び年間乗車料収入(税込)



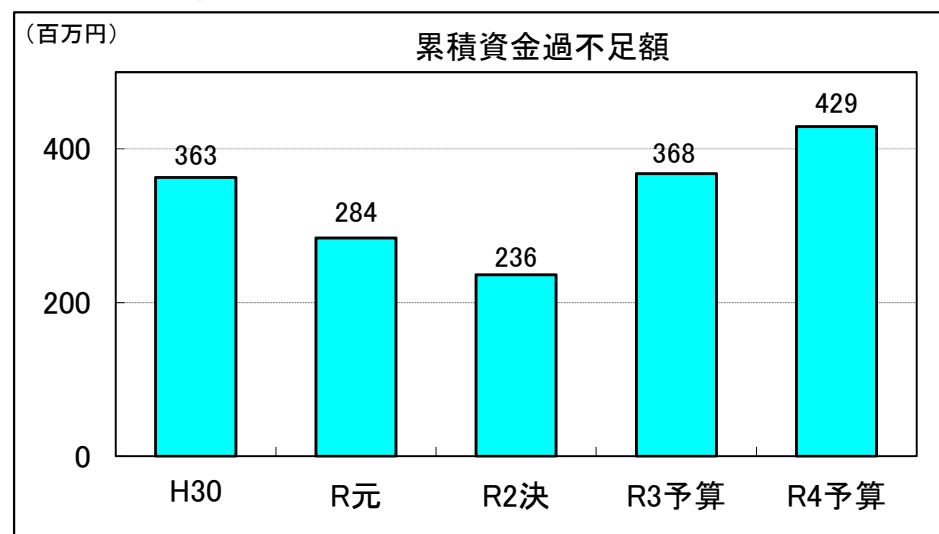
(2) 経常収支(税抜)



(3) 企業債(借入額・償還額・残高)



(4) 資金の状況



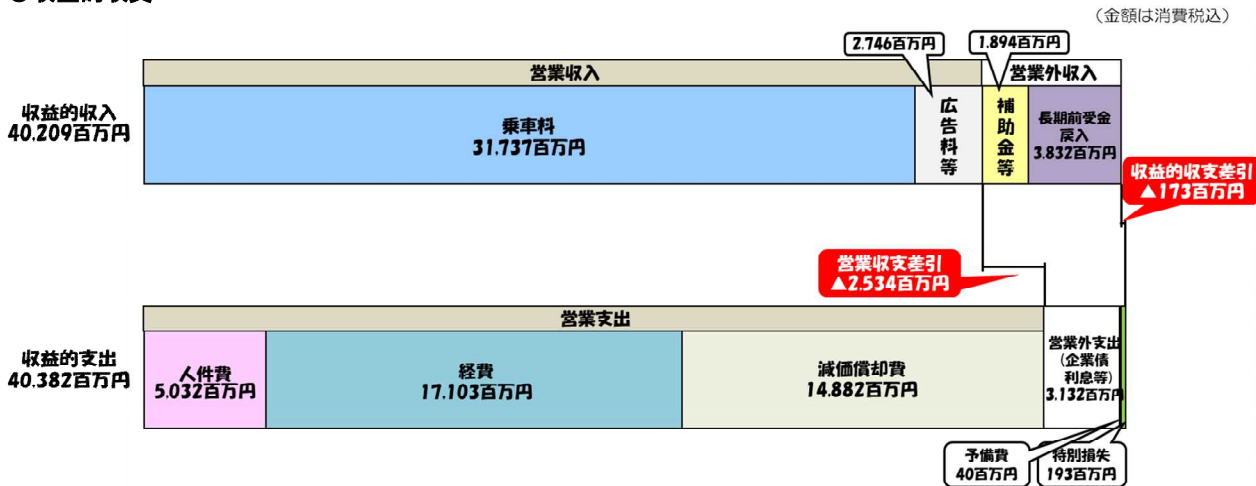
1 予算総括表

(高速電車事業会計)

(単位:百万円、税込)

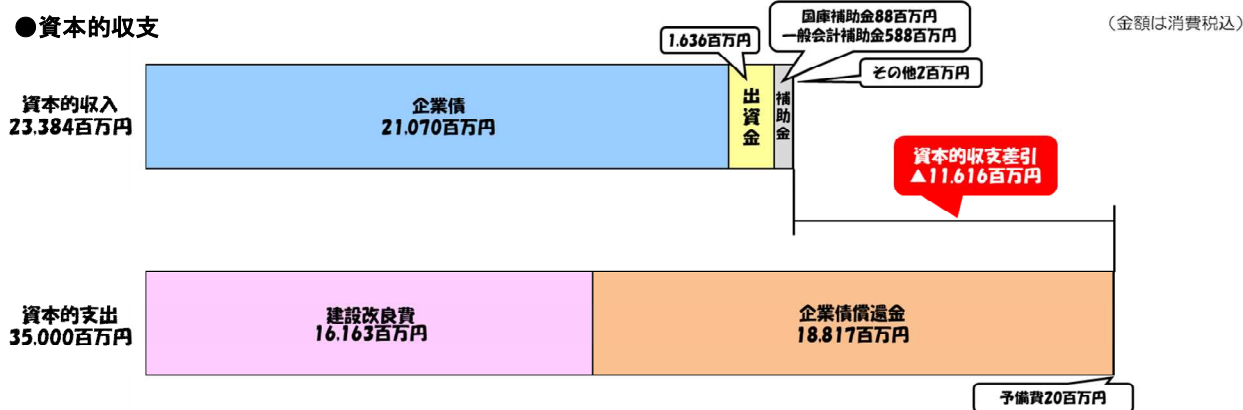
項目		3年度予算 A	4年度予算 B	差引 (B-A)
収益的 収 支	営業収益 (乗車料・広告料等)	35,180	34,483	△ 697
	営業費用 (人件費・経費等)	36,820	37,017	197
	営業収支 (本業による利益)	△ 1,640	△ 2,534	△ 894
	営業外収益 (補助金等)	5,787	5,726	△ 61
	営業外費用 (支払利息・消費税等)	3,859	3,132	△ 727
	営業外収支 (本業以外による利益)	1,928	2,594	666
	予備費	40	40	0
	特別利益	0	0	0
	特別損失	0	193	193
	収益的収支差引	248	△ 173	△ 421
資本的 収 支	資本的収入 (企業債・補助金)	22,944	23,384	440
	うち特別減収 対策企業債※	8,280	8,046	△ 234
	資本的支出 (建設改良費等)	36,821	35,000	△ 1,821
資本的収支差引	△ 13,877	△ 11,616	2,261	
当年度分損益勘定留保資金等 (減価償却費・長期前受金戻入等)		12,000	11,616	△ 384
当年度分資金過不足額		△ 1,629	△ 173	1,456
過年度分内部留保資金		0	0	0
合計		△ 1,629	△ 173	1,456
特別減収対策企業債※ (収益的収支不足分)		0	173	173
再計		0	0	0

●収益的収支



令和4年度予算の収益的収支は、乗車料等の収入では、人件費、経費、減価償却費などの費用を賄うことはできず、173百万円の赤字となる見込みです。

●資本的収支



令和4年度予算の資本的収支は、設備投資のための支出である建設改良費や企業債償還金の財源を、企業債、一般会計出資金、補助金などの収入により賄っていますが、多額の企業債元金償還金のため11,616百万円の不足となる見込みです。不足額については、減価償却費などの損益勘定留保資金等で賄います。

※特別減収対策企業債とは、公営企業が新型コロナウイルス感染症の拡大防止のための取組に伴う利用者の減少等により、大幅な収入減が生じていることから、資金繰りを円滑にするため創設された制度で、資金不足額について、企業債が発行できるもの。

2 業務量

(高速電車事業会計)

区 分		3 年 度 予 算 A	4 年 度 予 算 B	比 較	
				増 減 Δ B - A = C	増 減 率 (%) C / A
営 業 キ 口 数		km 48.0	km 48.0	km 0.0	0.0
車 両 数		両 368	両 368	両 0	0.0
走 行 キ 口 数		千km 33,667	千km 33,635	千km Δ 32	Δ 0.1
輸 送 人 員	年 間	人 173,110,000	人 169,088,000	人 Δ 4,022,000	Δ 2.3
	一 日 平 均	人 474,000	人 463,000	人 Δ 11,000	Δ 2.3
乗 車 料		千円 32,356,000	千円 31,737,000	千円 Δ 619,000	Δ 1.9

3 主要事業の概要

(高速電車事業会計)

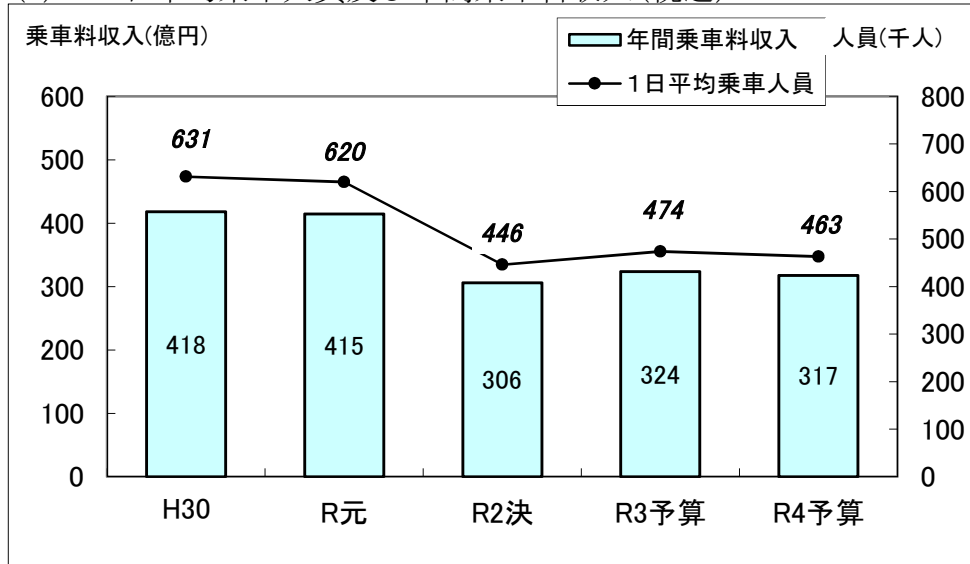
(単位：千円)

項目	令和3年度 予算(A)	令和4年度 予算(B)	差引 (B)-(A)	事業の主な内容
建設改良事業 (注)	15,045,896	16,163,000	1,117,104	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><老朽化施設の改修等> 駅舎施設設備の改修 8,078百万円 ○耐震改修工事(南北線シェルターの工事、南車両基地の設計等)・・・3,284百万円 ○EV・ES更新工事・・・906百万円 ○東豊線空調換気給排水設備改良工事 692百万円 ○自動出改札装置等更新・・・625百万円 ○南北線さっぽろ駅改良事業・・・214百万円 ○すすきの駅リフレッシュ改修工事 126百万円 電力・通信施設設備の改修 5,042百万円 車両・工場機器設備の改修等 2,796百万円 ○東西線8000形車両表示器更新(多言語対応)・・・74百万円</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><その他> 247百万円 ○旅客用トイレ改良工事(トイレの洋式化)・・・122百万円 ○ホーム案内板の更新(多言語対応)・・・57百万円 ○東西線大通駅吊下げ電照標識改修工事(多言語対応)・・・52百万円 ○駅出入口電照標識更新工事(多言語対応)・・・16百万円</p> </div>
同 上 財源内訳				
企業債	11,767,000	12,616,000	849,000	
一般会計 出資金	1,554,000	1,636,000	82,000	
国補助 庫金	141,500	87,500	△ 54,000	
一般会計 補助金	15,000	0	△ 15,000	
その他	1,568,396	1,823,500	255,104	

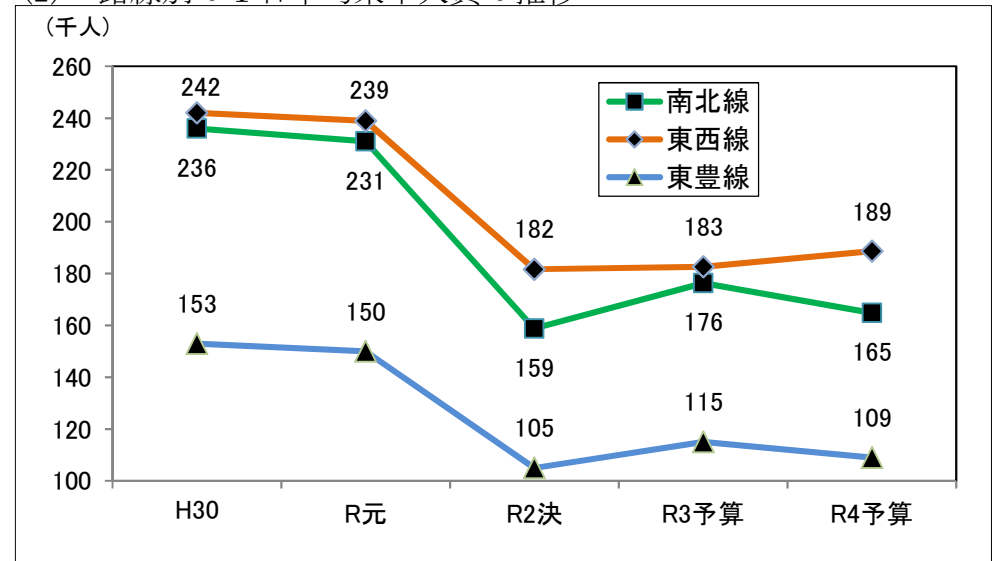
(注) 3年度予算は、R4年1定補正予算及びR2年度からの繰越額を含めた金額

4 過去5年間の傾向

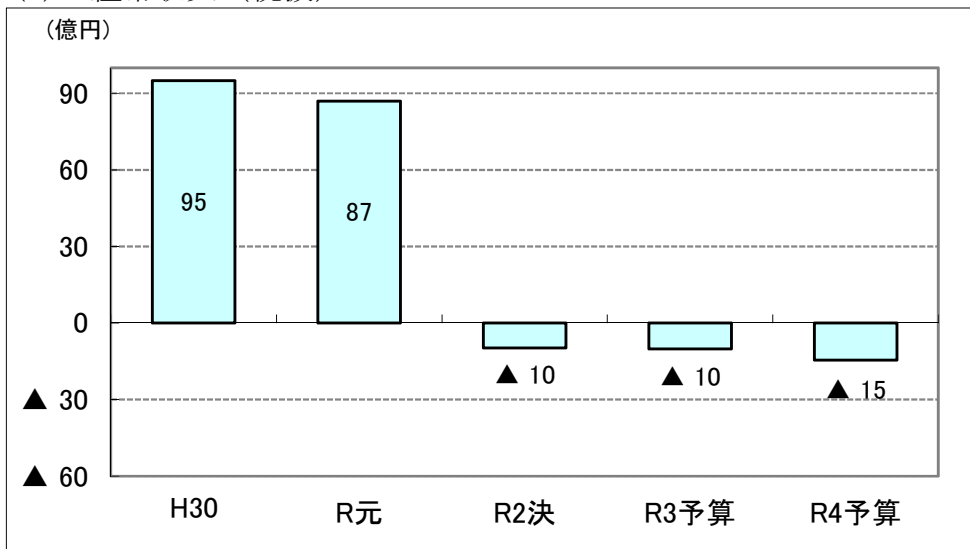
(1) 1日平均乗車人員及び年間乗車料収入(税込)



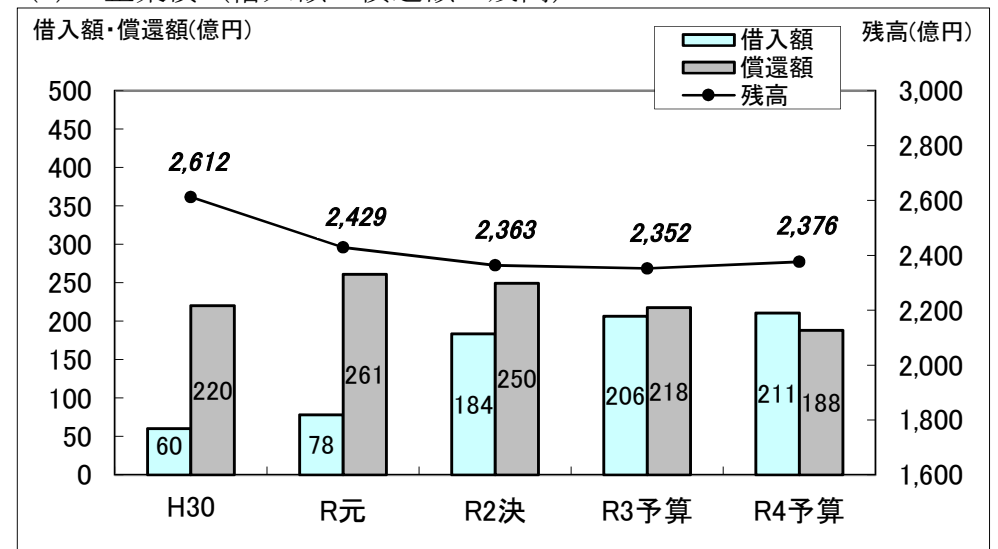
(2) 路線別の1日平均乗車人員の推移



(3) 経常収支(税抜)



(4) 企業債(借入額・償還額・残高)



令和4年度水道事業 予算の概要

1	予 算 総 括 表	1 頁
2	業 務 量	2
3	主 要 事 業	3
4	これまでの傾向	4

1 予算総括表

(消費税込、単位 千円)

区 分	収 入			支 出			収 支 差 引					
	項 目	R4年度予算 A	R3年度予算 B	差引増減 A-B	項 目	R4年度予算 C	R3年度予算 D	差引増減 C-D	R4年度予算 A-C=E	R3年度予算 B-D=F	差引増減 E-F	
当年度 収入及び支出	収益的 収入及び支出	営業収益	42,967,000	42,741,000	226,000	営業費用	35,704,000	35,509,000	195,000			
		うち給水収益	41,029,581	40,748,089	281,492	うち運営管理費	18,738,246	18,483,139	255,107			
		営業外収益	2,392,000	2,460,000	△ 68,000	営業外費用	1,316,000	1,465,000	△ 149,000			
		小 計	45,359,000	45,201,000	158,000	予 備 費	20,000	20,000	0			
		特別利益	318,000	10,000	308,000	特別損失	67,000	60,000	7,000			
	計	① 45,677,000	45,211,000	466,000	計	② 37,107,000	37,054,000	53,000	③ 8,570,000	8,157,000	413,000	
	資本的 収入及び支出	企業債	5,000,000	5,000,000	0	建設改良費	22,311,688	21,659,563	652,125	↓ 収支差引(税抜) = 当年度純利益 (6,494,101) ↓ 予定処分後純利益 (注2参照) 948,101	↓ (6,120,746) ↓ 276,746	(373,355)
		出 資 金	1,008,608	662,224	346,384	企業債償還金	6,329,704	6,555,213	△ 225,509			
		固定資産売却代金	160,785	82,584	78,201	出 資 金	895,608	662,224	233,384			
		補助 金	195,565	235,731	△ 40,166	予 備 費	20,000	20,000	0			
加 入 金		750,767	749,379	1,388								
負 担 金		240,275	261,082	△ 20,807								
計	④ 7,356,000	6,991,000	365,000	計	⑤ 29,557,000	28,897,000	660,000	⑥ △22,201,000	△21,906,000	△ 295,000		
当年度分損益勘定留保資金等	10,797,392	10,723,097	74,295					10,797,392	10,723,097	74,295		
合 計	63,830,392	62,925,097	905,295	合 計	66,664,000	65,951,000	713,000	△ 2,833,608	△ 3,025,903	192,295		
過年度分内部留保資金	13,491,134	16,891,532	△ 3,400,398					13,491,134	16,891,532	△ 3,400,398		
総 計	77,321,526	79,816,629	△ 2,495,103	総 計	66,664,000	65,951,000	713,000	⑦ 10,657,526	13,865,629	△ 3,208,103		
水道施設更新積立金	-	-	-	水道施設更新積立金	-	-	-	9,600,000	9,600,000	0		
上記以外の額	-	-	-	上記以外の額	-	-	-	1,057,526	4,265,629	△ 3,208,103		

注1. R3年度予算の過年度分内部留保資金は、R2年度決算置換後の額である。

注2. R4年度予算は、建設改良積立金として5,546,000千円を予定処分する。

注3. R4年度予算の過年度分内部留保資金は、R2年度からR3年度への予算繰越(374,495千円)の影響を含む額である。

2 業務量

区 分		4年度予算 A	3年度		差引増減△			
			当初予算 B	決算見込 C	当初予算対比		決算見込対比	
					増減△ A-B=D	比率(%) D/B	増減△ A-C=E	比率(%) E/C
人 口 等	給水区域内人口(人)	1,968,084	1,970,284	1,967,715	△ 2,200	△ 0.1	369	0.0
	給水人口(人)	1,966,678	1,968,875	1,966,252	△ 2,197	△ 0.1	426	0.0
	普及率(%)	99.9	99.9	99.9	0.0	-	0.0	-
水 量 等	年間配水量(m ³)	191,145,000	192,214,000	192,261,000	△ 1,069,000	△ 0.6	△ 1,116,000	△ 0.6
	1日平均配水量(m ³)	523,700	526,600	526,742	△ 2,900	△ 0.6	△ 3,042	△ 0.6
	年間有収水量(m ³)	178,721,000	178,951,000	179,764,278	△ 230,000	△ 0.1	△ 1,043,278	△ 0.6
	有収率(%)	93.5	93.1	93.5	0.4	-	0.0	-
年度末給水件数(件)		903,322	895,580	894,493	7,742	0.9	8,829	1.0
年度末配水管布設延長(m)		6,082,837	6,073,328	6,068,085	9,509	0.2	14,752	0.2

3 主要事業

【重点取組項目1 水源の分散配置と水質の安全性の向上】

- 豊平川水道水源水質保全事業 1,194百万円
…管理センター、排水処理施設ほか
- 石狩西部広域水道企業団への参画 1,346百万円
…当別浄水場増設工事・送水管新設工事に係る出資金ほか

【重点取組項目2 施設の更新・耐震化と危機管理体制の強化】

- 白川浄水場改修事業 1,122百万円
…白川取水渠新設工事、白川新沈砂池新設工事ほか
- 白川第1送水管更新事業 101百万円
…管内調査ほか
- 西野・定山溪浄水場耐震化事業 605百万円
…西野浄水場耐震改修工事、定山溪浄水場導水管更新工事
- 配水管更新事業 7,573百万円
…配水管更新計画に基づき50.0km
- 配水幹線連続耐震化事業 4,846百万円
…清田第2、平岸第1、北、厚別通、里塚、有明 3.8km
- 災害時重要管路耐震化事業 579百万円
…医療機関3か所、指定避難所(基幹)4か所
- 緊急遮断弁整備事業 104百万円
…手稲本町配水池緊急遮断弁整備工事

【重点取組項目3 利用者とのコミュニケーションの充実】

- 無線式メーターの設置地域の拡大 838百万円
…地下式メーター約2万6千個を無線式に交換

【重点取組項目4 経営基盤の強化と連携の推進】

- 札幌水道を支える人材の育成 13百万円
…水道技術研修ほか

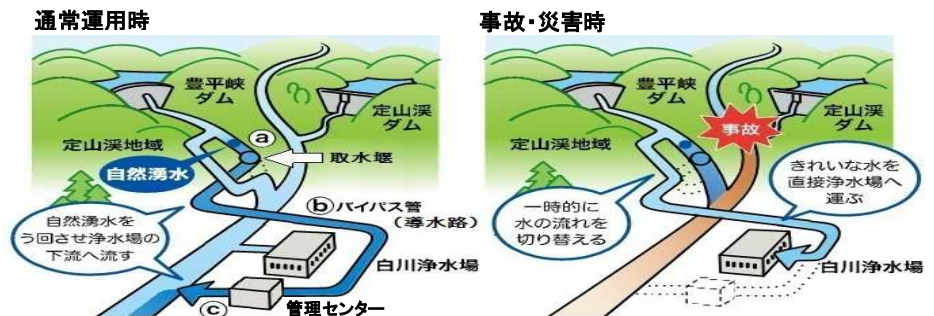
【重点取組項目5 エネルギーの効率的な活用】

- 環境に配慮した事業運営の推進 6百万円
…バイパス水力発電 系統連系工事負担金ほか

<配水管延長と耐震化率>

4年度末 総延長(前年比)	4年度末 耐震化率(前年比)
6,082.8km(+14.8km)	34.0%(+1.0ポイント)

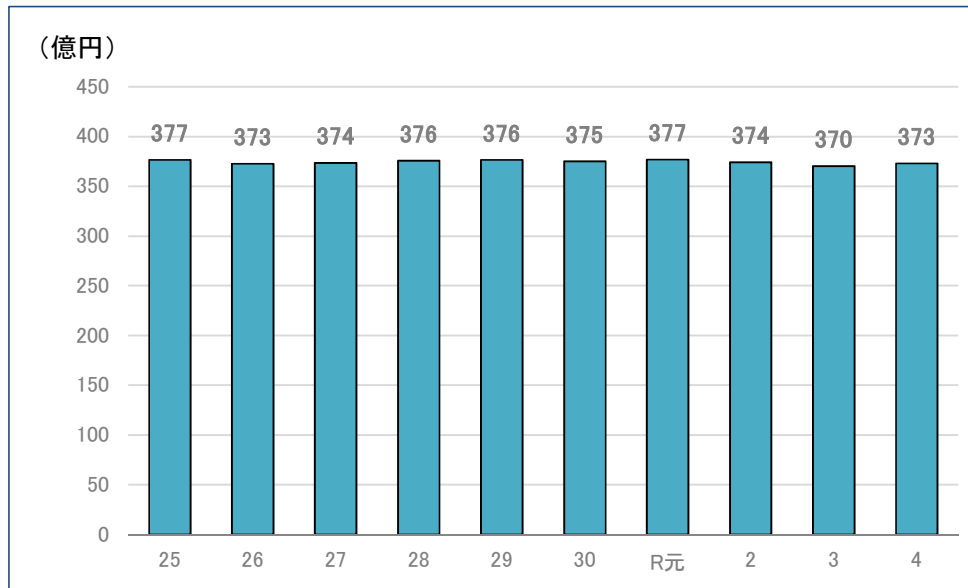
●豊平川水道水源水質保全事業のイメージ



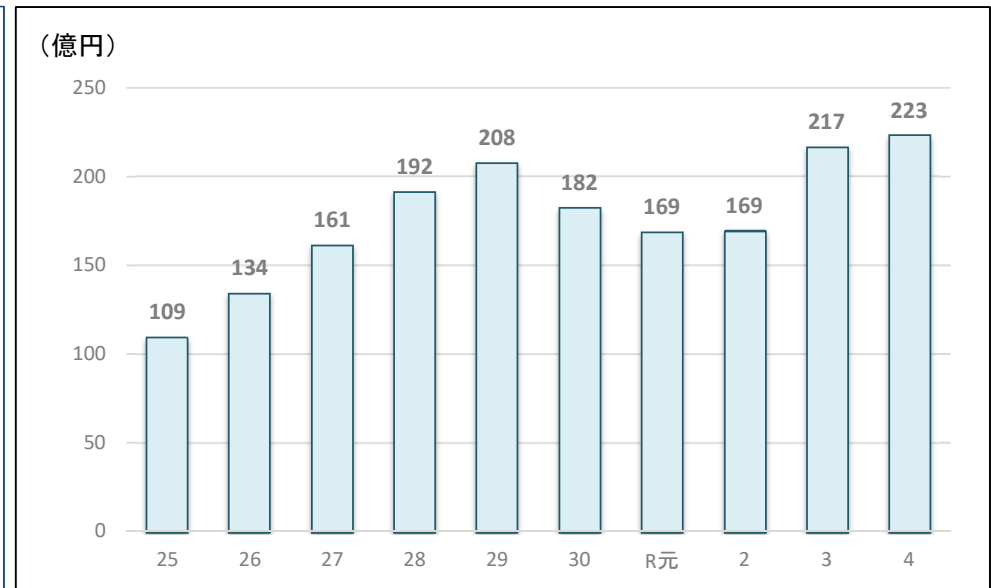
4 これまでの傾向

(～令和2年度＝決算、令和3年度・4年度＝当初予算)

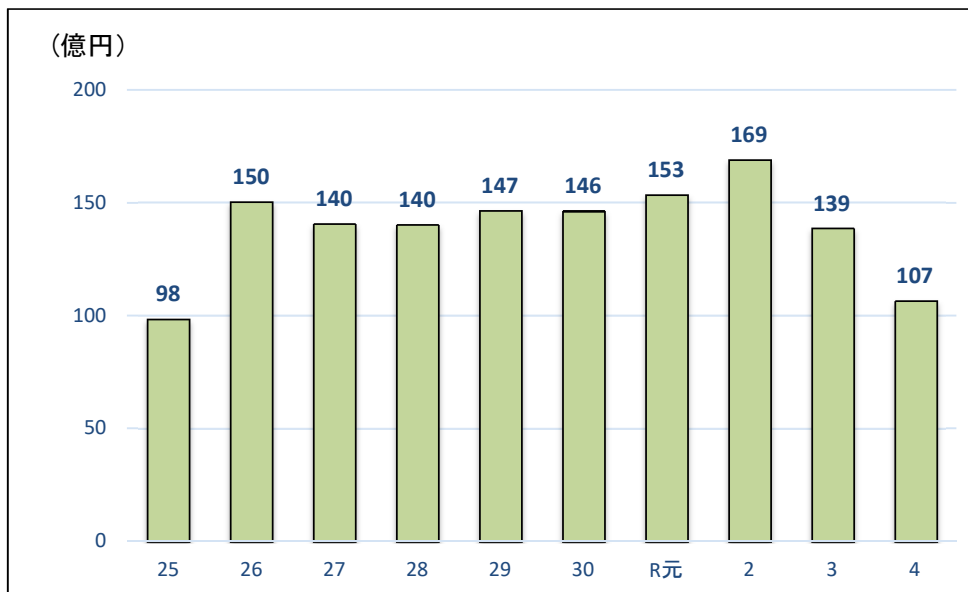
■図表1 給水収益の推移（税抜）



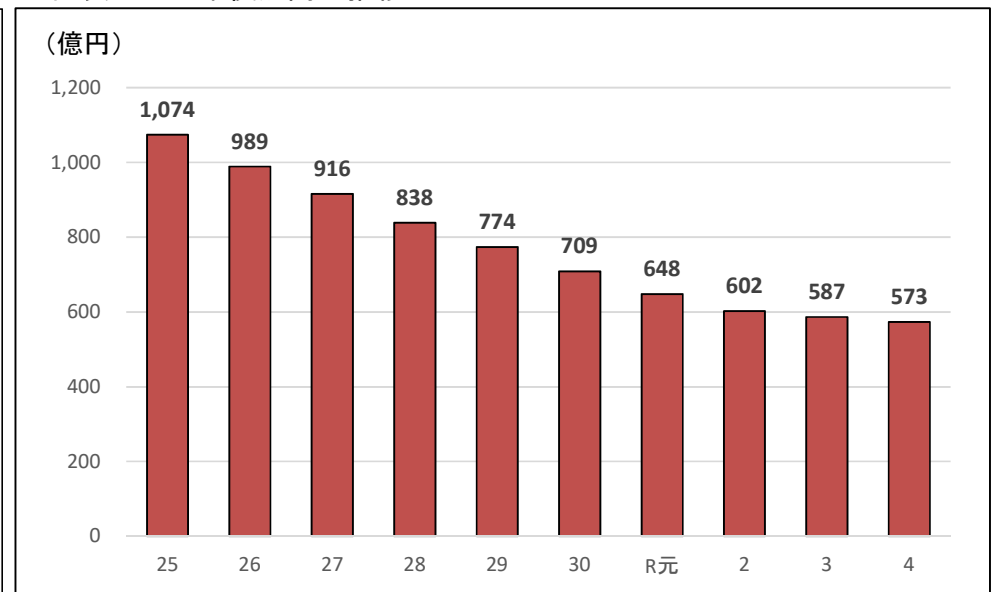
■図表2 建設改良費の推移



■図表3 資金残高の推移



■図表4 企業債残高の推移



令和4年度下水道事業 予算の概要

資料

5

1	予 算 総 括 表	1 頁
2	業 務 量	2 頁
3	主 要 事 業	3 頁
4	5 年 間 の 傾 向	5 頁

1 予算総括表

(単位：千円)

区分	項目	収 入			項目	支 出			収 支 差 引						
		令和4年度予算 A	令和3年度予算 B	差引 A-B		令和4年度予算 C	令和3年度予算 D	差引 C-D	令和4年度予算 E (A-C)	令和3年度予算 F (B-D)	差引 E-F				
当 年 度 入 及 び 支 出	収 益 的 収 入 及 び 支 出	営業収益	39,271,549	38,937,293	334,256	営業費用	46,414,012	46,180,942	233,070						
		下水用 料	21,098,257	20,075,241	1,023,016	維持管理費	20,219,404	20,858,008	△ 638,604						
		一般会計 負担金等	17,557,390	18,513,973	△ 956,583	人件費	3,233,252	3,422,212	△ 188,960						
		その他	615,902	348,079	267,823	物件費	16,986,152	17,435,796	△ 449,644						
						減価償却費等	26,194,608	25,322,934	871,674						
		営業外収益	11,558,410	11,556,285	2,125	営業外費用	2,398,406	2,634,799	△ 236,393						
						予備費	30,000	30,000	0						
		小計	50,829,959	50,493,578	336,381	小計	48,842,418	48,845,741	△ 3,323				1,987,541	1,647,837	339,704
		特別利益	1,041	1,422	△ 381	特別損失	91,582	92,259	△ 677				△ 90,541	△ 90,837	296
		計	① 50,831,000	50,495,000	336,000	計	② 48,934,000	48,938,000	△ 4,000				③ 1,897,000	1,557,000	340,000
入 及 び 支 出	資 本 的 収 入 及 び 支 出	企業債	16,723,000	18,208,800 (15,600,000)	△ 1,485,800 (1,123,000)	建設改良費	22,061,000	26,361,504 (22,207,000)	△ 4,300,504 (△ 146,000)	税 抜 後 ↓ (純利益)	税 抜 後 ↓ (純利益)	税 抜 後 ↓ 差引			
		国庫補助金	310,450	156,300	154,150	建設事業費	21,977,650	26,329,504 (22,175,000)	△ 4,351,854 (△ 197,350)						
		国庫交付金	3,576,400	5,371,501 (3,839,700)	△ 1,795,101 (△ 263,300)	その他	83,350	32,000	51,350						
		一般会計補助金	170,236	288,792	△ 118,556	償還金	16,593,000	17,552,000	△ 959,000						
		負担金	546,914	1,845,208	△ 1,298,294	返還金	70,000	70,000	0						
						予備費	20,000	20,000	0						
		計	⑤ 21,327,000	25,870,601 (21,730,000)	△ 4,543,601 (△ 403,000)	計	④ 38,744,000	44,003,504 (39,849,000)	△ 5,259,504 (△ 1,105,000)				⑥ △ 17,417,000	△ 18,132,903	715,903
出	当 年 度 分 損 益 勘 定 留 保 資 金 等		15,121,553	14,275,959	845,594				15,121,553	14,275,959	845,594				
		合計	87,279,553	90,641,560 (86,500,959)	△ 3,362,007 (778,594)	合計	87,678,000	92,941,504 (88,787,000)	△ 5,263,504 (△ 1,109,000)	△ 398,447	△ 2,299,944	1,901,497			
過年度分内部留保資金		4,616,556	6,916,500	△ 2,299,944					4,616,556	6,916,500	△ 2,299,944				
総計		91,896,109	97,558,060 (93,417,459)	△ 5,661,951 (△ 1,521,350)	総計	87,678,000	92,941,504 (88,787,000)	△ 5,263,504 (△ 1,109,000)	⑦ 4,218,109	4,616,556	△ 398,447				

(注1) 令和3年度予算は、令和2年度からの繰越及び補正を含む最終予算である。

(注2) () は、令和2年度からの繰越及び補正を含まない当初予算額である。

2 業務量

区 分				令和4年度	令和3年度		差 引 増 減 △				
				予 算 A	予 算 B	決算見込 C	予算対比		決算見込対比		
							増 減 D (A-B)	増減率 (%) D/B	増 減 E (A-C)	増減率 (%) E/C	
総 人 口		千人	ア	1,973.3	1,975.9	1,973.3	△ 2.6	△ 0.1	0.0	0.0	
下水道普及状況	管 路 総 延 長		km	8,316.3	8,311.6	8,308.3	4.7	0.1	8.0	0.1	
	処 理 面 積		ha	24,801	24,791	24,795	10.0	0.0	6.0	0.0	
	処 理 人 口		千人	イ	1,969.3	1,971.9	1,969.3	△ 2.6	△ 0.1	0.0	0.0
	総 人 口 普 及 率		%	イ/ア	99.8	99.8	99.8	0.0	0.0	0.0	0.0
水洗化普及状況	水 洗 化 可 能 人 口		千人	ウ	1,969.3	1,971.9	1,969.3	△ 2.6	△ 0.1	0.0	0.0
	水 洗 化 人 口		千人	エ	1,967.9	1,970.5	1,967.9	△ 2.6	△ 0.1	0.0	0.0
	水 洗 化 普 及 率		%	エ/ウ	99.9	99.9	99.9	0.0	0.0	0.0	0.0
処理水量等	年 間 処 理 水 量		千m ³		345,988	346,428	335,470	△ 440	△ 0.1	10,518	3.1
	晴 天 日 最 大 処 理 水 量		千m ³ /日		930.9	933.4	917.1	△ 2.5	△ 0.3	13.8	1.5
	処 理 能 力		千m ³ /日		1,147.0	1,173.8	1,173.8	△ 26.8	△ 2.3	△ 26.8	△ 2.3
	処 理 固 形 物 量		t		55,960	56,010	54,690	△ 50.0	△ 0.1	1,270	2.3
	年 間 有 収 水 量		千m ³		204,202	200,544	202,711	3,658	1.8	1,491	0.7

3 主要事業

施設の維持管理に関する業務		施設の建設に関する事業	
総費用	20,219百万円 (3年度当初予算比 639百万円減)	総事業費	21,978百万円 (3年度当初予算比 197百万円減)
○管路施設の維持管理	5,000百万円 (24.7%)	○下水道施設の再構築	19,796百万円 (90.1%)
〔施設数〕 管理延長	8,308.3km	〔管路〕	
マンホール数	216,656か所	老朽管改築等	36.3km
公共ます	438,903か所	既成市街地事業等(新規整備)	2.1km
		他事業関連	1.0km
〔主な費用内訳〕		〔ポンプ場〕	
(委託料・修繕費)	(4,282百万円)	簾舞中継ポンプ場(改築)等	3か所
管路調査(TVカメラ)	219km	〔水再生プラザ等〕	
管路点検(目視)	1,660km	西部スラッジセンター(改築)等	8か所
管路修繕	4,175か所		
○水再生プラザ・ポンプ場等の維持管理	12,192百万円 (60.3%)	○災害に強い下水道の構築	1,830百万円 (8.3%)
〔施設数〕 水再生プラザ	10か所	〔管路〕	
ポンプ場	16か所	平岸地区雨水拡充管(雨水対策)	1.0km
その他施設	7か所	浸水に弱い地区への対策(雨水対策)	0.3km
		汚泥圧送管のループ化(地震対策)	0.7km
〔主な費用内訳〕		〔ポンプ場〕	
(委託料) 運転管理・汚泥処理等	(5,098百万円)	耐震診断基本設計(地震対策)	2か所
(修繕費) 修繕工事等	(2,230百万円)	〔水再生プラザ〕	
(動力費) 電気料金・燃料代金	(2,651百万円)	伏古川水再生プラザ汚泥圧送設備(地震対策)	1か所
○その他の経費	3,027百万円 (15.0%)	○公共用水域の水質保全	328百万円 (1.5%)
〔主な費用内訳〕		〔水再生プラザ〕	
(負担金) 下水道使用料徴収業務負担金等	(1,620百万円)	手稲水再生プラザ(水質改善)等	2か所
		○下水道エネルギー・資源の有効利用	24百万円 (0.1%)
		〔水再生プラザ等〕	
		東部スラッジセンター(焼却排熱発電)	
		基本設計業務等	2か所

(注) (%)は構成比を示す。

主要事業イメージ図

参考資料

【下水道施設の再構築】 老朽管の改築

昭和初期に整備した下水管(老朽管)

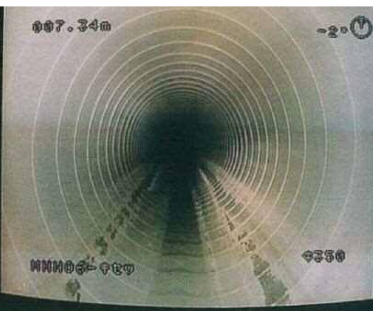


【改築前】

管の内面に新たな管を構築する工事

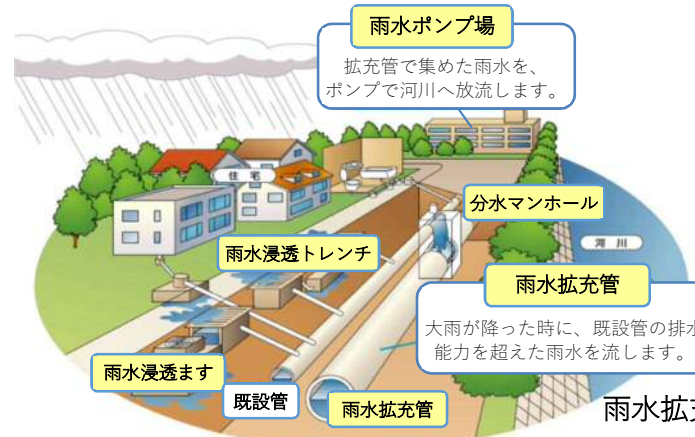


改築後の下水管

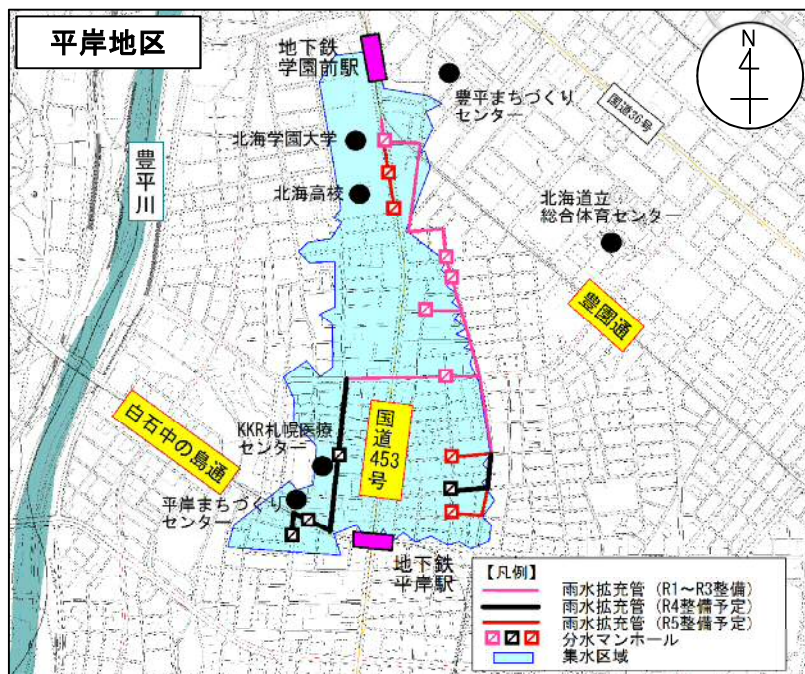


【改築後】

【災害に強い下水道施設の構築(浸水対策)】雨水拡充管



雨水拡充管イメージ図

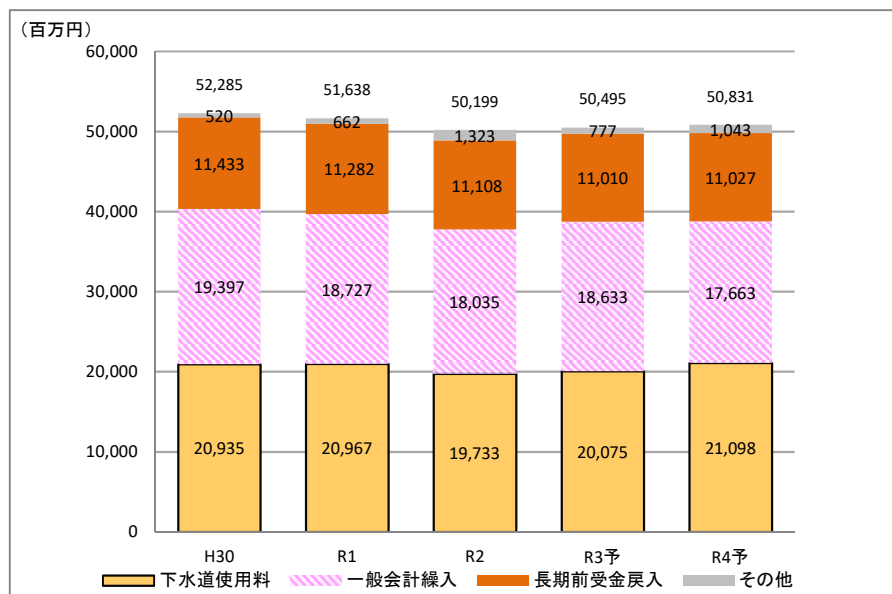


浸水被害状況 (H29.7 平岸)

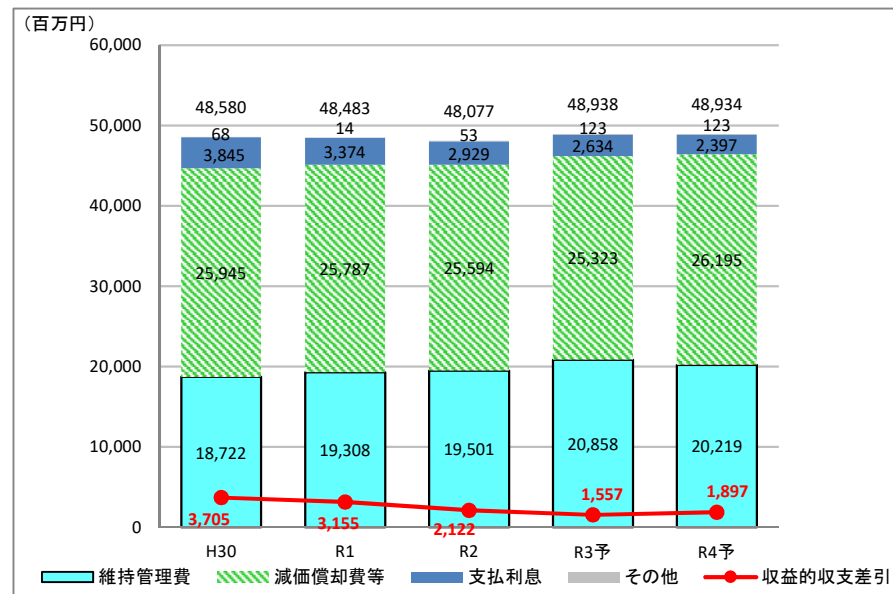
令和4年度整備箇所図

4 5年間の傾向 ～R2までは決算、R3は繰越及び補正予算を含む最終予算である。～

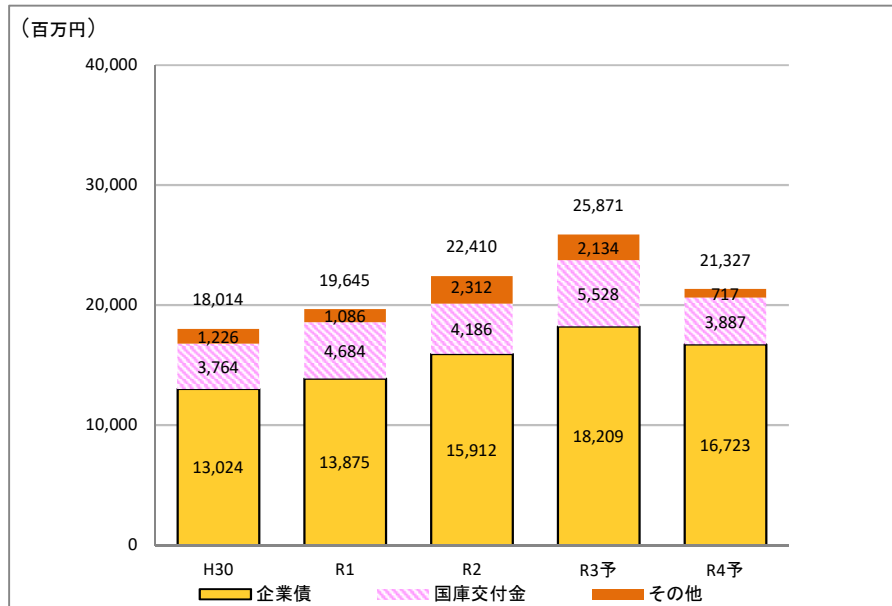
〔収益的収入〕



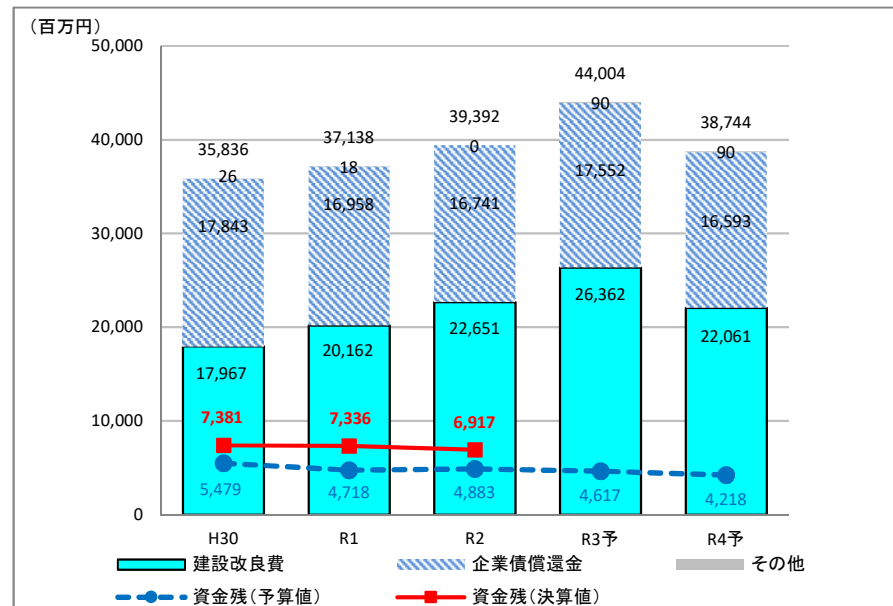
〔収益的支出〕



〔資本的収入〕



〔資本的支出〕



令和 4 年度病院事業 予算の概要

1	予 算 総 括 表	1 頁
2	業 務 量	2
3	主 要 事 業	3
4	過 去 5 年 間 の 傾 向	4

1 総括表

(単位：千円)

区分	収 入				支 出				収 支 差 引			
	項 目	R4年度予算 A	R3年度予算 B	差引増減 A-B	項 目	R4年度予算 C	R3年度予算 D	差引増減 C-D	R4年度予算 A - C = E	R3年度予算 B - D = F	差 引 E - F	
当 年 度 分	収 益 的 収 入 及 び 支 出	経 常 収 入	医 業 収 益	22,455,068	23,222,041	△ 766,973	医 業 費 用	25,455,512	24,914,349	541,163		
		う ち 診 療 収 益	22,116,978	22,634,089	△ 517,111	う ち 人 件 費	11,898,009	12,034,631	△ 136,622			
		医 業 外 収 益	4,901,932	2,303,959	2,597,973	医 業 外 費 用	420,488	498,651	△ 78,163			
						予 備 費	10,000	10,000	0			
		計	① 27,357,000	25,526,000	1,831,000	計	② 25,886,000	25,423,000	463,000	③ 1,471,000	103,000	1,368,000
収 入 及 び 支 出	資 本 的 収 入 及 び 支 出	企 業 債	2,291,000	1,345,000	946,000	建 設 改 良 費	2,646,000	1,665,237	980,763			
		出 資 金	175,791	54,324	121,467	企 業 債 償 還 金	2,891,000	2,720,763	170,237			
		負 担 金	1,972,209	1,867,676	104,533	他 会 計 借 入 償 還 金	0	200,000	△ 200,000			
		補 助 金	0	209,000	△ 209,000	予 備 費	1,000	1,000	0			
		計	④ 4,439,000	3,476,000	963,000	計	⑤ 5,538,000	4,587,000	951,000	⑥ △ 1,099,000	△ 1,111,000	12,000
出	当年度分損益勘定留保資金等	389,924	930,606	△ 540,682					389,924	930,606	△ 540,682	
	合 計	32,185,924	29,932,606	2,253,318	合 計	31,424,000	30,010,000	1,414,000	⑦ 761,924	△ 77,394	839,318	
	過年度分内部留保資金	688,828	766,222	△ 77,394					688,828	766,222	△ 77,394	
	総 計	32,874,752	30,698,828	2,175,924	総 計	31,424,000	30,010,000	1,414,000	⑧ 1,450,752	688,828	761,924	
	長 期 借 入 金	2,500,000	2,700,000	△ 200,000	長 期 借 入 金 償 還 金	0	200,000	△ 200,000	2,500,000	2,500,000	0	
	再 計								⑨ 3,950,752	3,188,828	761,924	

※ R4年度は当初予算、R3年度は補正後の予算である。

※ R3年度予算の過年度分内部留保資金は、R2年度決算置換後の額である。

2 業務量

区分	4年度予算 A	3年度		差引増減				
		予算 B	決算見込 C	予算対比 (A-B)	増減率(%) (A-B)/B	決算対比 (A-C)	増減率(%) (A-C)/C	
入院	病床数(床)	672	672	672	0	0.0	0	0.0
	病床利用率(%)	① 73.1%	85.6%	56.8%	▲ 12.5%	-	16.3%	-
		(コロナ以外) 76.9%	(コロナ以外) 86.0%	(コロナ以外) 73.9%				
		(コロナ) 69.0%	(コロナ) 50.0%	(コロナ) 49.3%				
	延患者数(人)	② 179,286	209,839	139,319	▲ 30,553	▲ 14.6	39,967	28.7
		(コロナ以外) 175,759	(コロナ以外) 208,379	(コロナ以外) 130,493				
		(コロナ) 3,527	(コロナ) 1,460	(コロナ) 8,826				
1日平均患者数(人)	491	575	382	▲ 84	▲ 14.6	109	28.5	
新入院患者数(人)	③ 15,497	18,029	12,024	▲ 2,532	▲ 14.0	3,473	28.9	
平均在院日数(日)	④ 10.6	10.6	10.6	0.0	0.0	0.0	0.0	
外来	延患者数(人)	⑤ 275,598	303,127	245,928	▲ 27,529	▲ 9.1	29,670	12.1
	1日平均患者数(人)	1,134	1,253	1,016	▲ 119	▲ 9.5	118	11.6

※ 4年度予算における一般病棟の病床数は588床、病床利用率は78.7%である。

3 主要事業

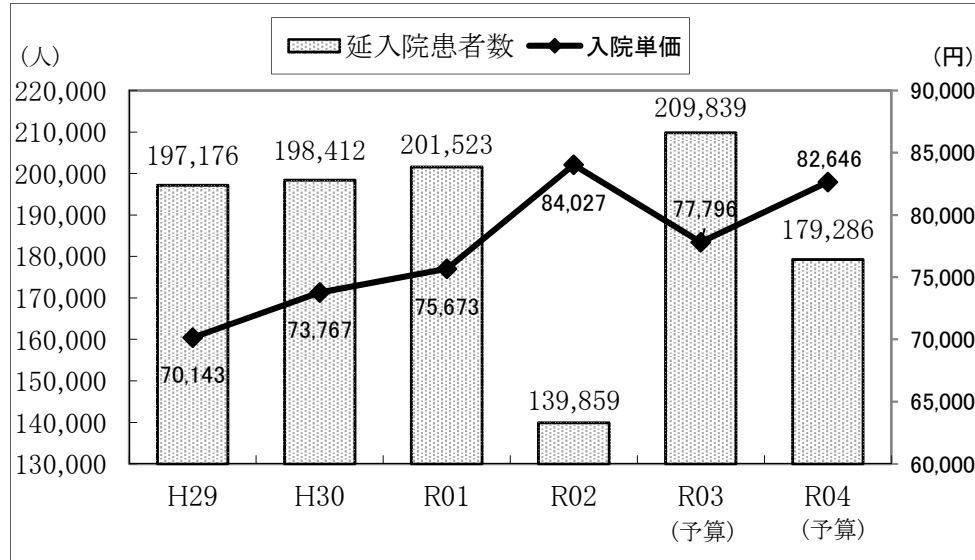
(単位：千円)

項	目	4年度予算 A	3年度予算 B	差 引 A-B	事業の主な内容
病 院 整 備 費		331,919	350,159	▲ 18,240	・医療ガス設備更新工事 121,898 千円
					・ヒートポンプユニット設備更新工事 78,063 千円
					・排水ポンプ設備更新工事 25,490 千円
					・高層系統市水受水槽更新工事 24,938 千円
					・その他整備更新工事 81,530 千円
医 療 機 器 購 入 費 等		2,314,081	1,315,078	999,003	・総合医療情報システム更新 1,589,770 千円
					・総合医療情報システム端末等 252,497 千円
					・生体情報モニタ 70,139 千円
					・デジタルX線TVシステム 66,000 千円
					・その他医療機器購入分等 335,675 千円
計		2,646,000	1,665,237	980,763	
財 源 内 訳	企 業 債	2,291,000	1,345,000	946,000	
	一 般 会 計 出 資 金	175,791	54,324	121,467	
	そ の 他	179,209	265,913	△ 86,704	

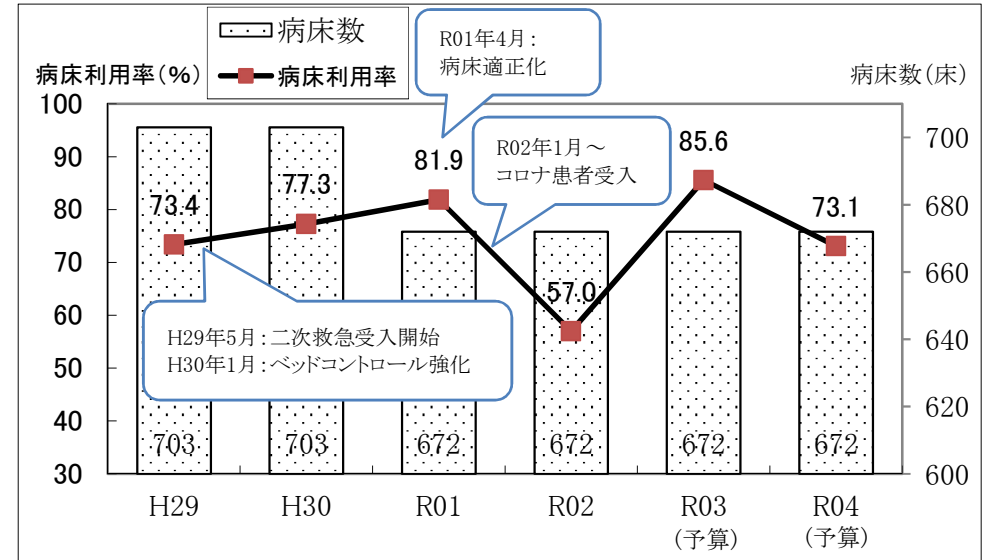
※ R4年度は当初予算、R3年度は補正後の予算である。

4 過去5年間の傾向

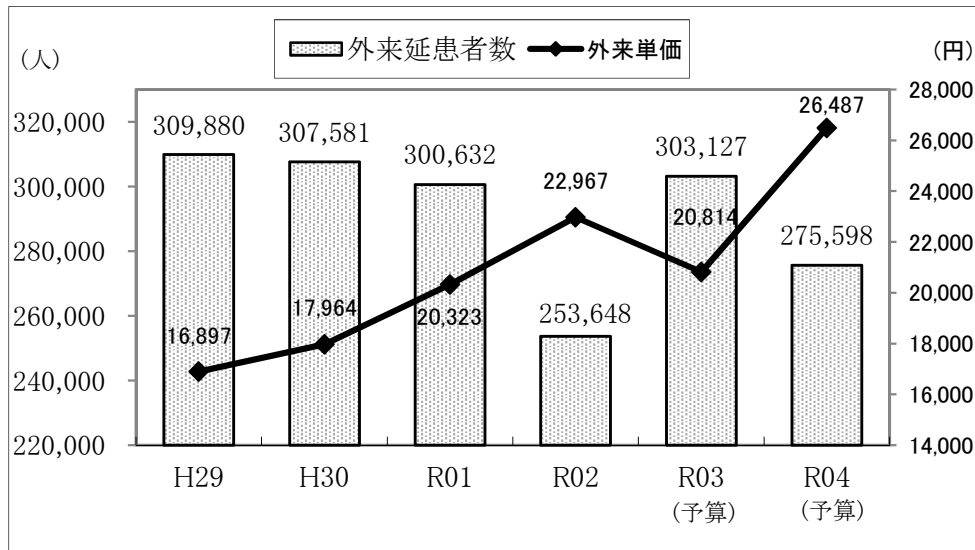
■ 延入院患者数・入院単価の推移



■ 病床利用率・病床数の推移



■ 延外来患者数・外来単価の推移



■ 経常収支・資金残の推移

